

# 平成29年度 小林市立東方中学校 学校関係者評価書

4段階評価（4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

**学校経営ビジョン**  
 ○ 学校教育目標を達成するために、第二次宮崎県教育基本計画及び小林市の教育基本方針を受け、本校の歴史と伝統、そして 保護者、地域、子どもの実態及びニーズを踏まえて、「学びたい」「学ばせたい」気持ちを高める小林教育の具現化を図る。  
 ○ 小中一貫教育を充実させ、学力向上を目指した授業改善、豊かな心の育成を目指した教育活動の推進、学校・家庭・地域がそれぞれの教育的機能を発揮し、故郷への貢献を意識し、自立・感謝・貢献の学びの循環を確率することを目指す。

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	数値目標	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価		関係者評価	学校関係者評価のコメント
				項目	総合		
知育	・ ICTを積極的に活用し指導力を向上 ※ 研究授業の実施及び個別指導の充実	・ 各種学力テスト…各教科県平均より5ポイントアップ ・ 学校評価生徒アンケート「授業が分かりやすい」90%以上 ・ 漢字検定、英語検定、数学検定の合格率70%以上（当該学年の級）	○ICTについては、ほとんどの教科で積極的な活用がなされている。特に数学、理科の授業で、主体的・協働的な学びが展開され他教科の先導的役割を果たし、職員のICT活用能力の向上に繋がっている。 ○研究授業は全員が実施した。特に3回の重点支援校訪問では、指導主事の先生方に指導を仰ぎながら、指導方法の改善や個別指導の充実に向けての授業が展開できた。 ○4月実施県数テスト県平均との差1年-15点2年+16点+4点県英テスト1年+3点（11月）2年+20点3年+8点3年生の10月に行われた県下一斉の学力診断テストでは、5教科24点上回ることができた。 ○漢検24/35（8月）英検14/14（10月）数検9/14（10月） ○「授業が分かりやすい」の生徒評価は96%の支持を得ており、きめ細やかな個別指導が効果を上げている。 ○読書活動に関する評価が大変低く課題である。図書協力員と国語科が連携して図書室の環境改善に努めている。 ○3年生を中心に、放課後や休日に個別指導を実践している。	3.7	3.4	3.5	○ICT活用については、視察研修会がある程度県内でも注目されていると思います。 ○ICTを活用しすべての教科により結果が出て、主体的な授業ができています。きめ細かな指導ができています。 ○個別指導大変な努力されています。 ○各種テストの結果、学力が向上したのは先生方の指導力と生徒たちの努力が実った結果と思う。少数校だけど利点も多くあり生徒たちも恵まれていると感ずる。 ○児童生徒たちの作文をMRTラジオに投稿されるなど先生方の指導内容がうかがわれます。 ◆テレビの誘惑とかで読書活動は無理、親にその気になってもらわないと。 ◆残念なのは読書に対する熱意が低いことです。伸び盛りの今いるんな本を読み知識を身につけて欲しい。 ◆読書については二極化しているとのことで、読書好きの生徒の力を借りたらどうでしょうか？方法は生徒たちが主体的に考える。今後読書活動がどこまで伸びるか楽しみにしています。
	・ 各種学力テスト結果の分析と学力向上対策に基づく徹底した指導の実践			3.6			
	・ 計画的な課題・週末課題による学習内容の定着を図るとともに弱点補強			3.6			
	・ 読書活動を推進し言語力を向上…読書週間等の設定、読書週間の実施、言語トレーニングの実施			2.6			
徳育	・ 道徳の時間の計画的実施及び人権教育の充実	・ 学校評価アンケート「思いやりの心があり、礼儀正しい」85%以上 ・ 学校評価アンケート「挨拶やボランティアを積極的に行っている」85%以上 ・ いじめ、不登校 0	○学校評価「思いやりの心があり、礼儀正しい」生徒86%保護者98% ○学校評価「挨拶やボランティアを積極的に行っている。」生徒88% 保護者88% ○いじめ、不登校については、現在0である。何も無い時でも、常に学校全体で危機意識をもち生徒指導を行っている。 ○道徳は、各学年とも毎週実施し、人権学習にも取り組んだ。 ○各種体験活動はほぼ計画通りに実施できた。高齢者宅訪問は、3月12日（月）に実施予定。 ○教育相談は計画通りに実施している。また、機会をとらえ、困り感のある生徒には積極的に声をかけるようにしている。	3.5	3.5	3.7	○東方中は徳育が優れており、高校に行き中学校との違いに戸惑う生徒も多いようです。それぐらい優れていると思います。 ○徳育の教育ができ思いやりのある心、礼儀正しい生徒が育っている。 ○色々な体験活動を通して、また、きりしま支援学校もあり、生徒達が大変心の優しい思いやりのある人に育っていると思う。このまま成長されることを願います。 自主的に行動、積極的にあいさつ、ボランティア活動を行っていると思います。 ○いじめ不登校0で危機意識をもち指導されているのがよい。
	・ 体験活動をとおした「心の教育」の充実 ※ 福祉体験、職場体験、あいさつ運動、花いっぱい運動、ボランティア活動等			3.5			
	・ 教育相談の充実 ※ 年間3回の「教育相談週間」の実施、チャンス相談の実施			3.6			
体育	・ 保健体育の授業をとおした体力向上の推進	・ 新体力テスト…前年度比3ポイントアップ ・ 学校評価生徒アンケート「進んで運動し体育的行事が充実」95%以上	○体力テストにおいてB判定以上の生徒は35人で、70%であり、昨年よりも23%あがった。特に1年生の女子の能力が高い。 ○学校評価「進んで運動し、体育的行事が充実している」は生徒86%、保護者100%である。生徒はまだ満足していない生徒もあり、次年度に向けて生徒の意欲を喚起させたい。 ○部活動に関する項目では、生徒は94%が満足しているものの、保護者は71%にとどまった。新設の要望もあるが、生徒数の推移や現存の部活動との兼ね合いから難しく、学校としても部活動については長期的な展望をもって進めていきたい。	3.3	3.4	3.3	○部活動等生徒数が少ない為の課題も多いと思うが、体力テストの結果が良く可能性を秘めた生徒が多いことは素晴らしいと思う。 ◆個人の意見が尊重されなければなりません、そのことが部活動の衰退を招く要因の一つでもあるようですね。小規模校ならではの問題なのではないでしょうか。 ◆健康な体を作るには運動する必要がある。
	・ 体力テストを分析し、その結果を受けた「体づくり運動」の実施			3.4			
	・ 体育的行事の充実…三校合同大運動会、駅伝ロードレース大会、部活動			3.5			
	・ 部活動の推進 ※ 年間2回の部活動連絡協議会の開催、定期的なキャプテン会の実施			3.3			
食育	・ 食育便りの発行 ※ 月1回発行、年2回小中合同食育便りの発行	・ 学校評価保護者アンケート「食育指導を充実している」95%以上 ・ 生徒の給食の残食量1%未満	○学校評価「食育指導を充実している」生徒98% 保護者95% ○食育だよりや保健だよりを毎月発行し、食育の充実を図っている。 ○生徒の手作り弁当の日を現在まで2回設定した。 ○給食を全校生徒が楽しみにしている。食べる量は個人で差があるが、自分たちで分け合ったりしながら、全学年で目標を達成している。	3.2	3.5	3.6	○食育指導の充実度も高評価を得ていることは素晴らしい、今後も残食ゼロを目指してほしい。 ○給食をお互い譲り合って残さない工夫をしていることは大変良いことと思う。 ○世間では、食品ロスが問題視されていますが、東方中に限ってはそれが無いようです。年頃の女の子にとって、おかわりなんて恥ずかしいと思いますが、それが無いのは、食育を通じて食事の大切さが浸透している証だと思われたい。 ◆元気な体を作る点では、完食を目指すことは必要。 ◆お弁当の日の実施は本人が作っているのでしょうか？自分が作っているとしたら4でしょう。
	・ お弁当の日の実施…年2回以上実施			3.0			
	・ 「食の贈り物in夏休み」の実施 ※ 夏休みの課題として実施			3.8			
	・ 給食の残食量5%以下を目指す。			3.9			
その他	・ 学校の様子を各種通信及び学校ホームページ等で積極的に発信	・ 学校評価保護者アンケート「学校の様子がよく分かる」95%以上 ・ 職員のPTA主催事業と地域行事への協力と積極的参加率95%以上 ・ 参観日・学級懇談の充実率85%以上 ・ 学校評価アンケート「地域の伝統・文化を継承する取組の実践」95%以上	○学校評価「学校の様子がよく分かる」生徒、保護者ともに98%である。 ○学校ホームページをリニューアルし、随時更新している。更新回数が増えたと閲覧回数も増え、現在今年1年で、27000件の閲覧があった。 ○適宜学校便りやPTA新聞を発行し、地域にも回覧して情報公開を推進している。【別紙資料参照】 ○参観率は、現在約80%である。仕事を休めない家庭もある。参観日等へには知らせている。 ○熊野神社祭、陰陽石祭、こぼやし秋祭等に生徒や職員が積極的に参加した。生徒や保護者から100%の良い評価を得た。	3.9	3.6	3.8	○学校新聞が回覧板で廻り、学校のことが準会員家庭にもよく分かり、地域の方々の理解・協力も得やすいと思う。 ○学校ホームページを活用し、閲覧できるため、今後も続けて欲しいです。 ○十二分に信頼される学校づくりに努めていただいていると思います。 ○全体を通して、先生方の指導が多岐にわたっていることを実感し、感謝するとともに、ご苦労を感じたところです。 ○先日熊野神社近くの側溝をスコップで上げておられたのには頭が下がりました。 ○輪太鼓踊りの伝承、先生方にも子どもたちにも尊敬の念が湧きます。 ◆学校を知る必要がある。生徒、先生、家庭を知ることが大切である。
	・ 職員のPTA主催事業と地域行事への協力と積極的参加			3.6			
	・ 参観日・学級懇談の充実			3.4			
	・ 学校運営協議会の充実			3.5			
	・ 地域の伝統・文化の継承…東方輪太鼓踊りの伝承			3.7			

次年度の方向性についての校長所見

(1) 知育 = 学力の向上… ICTを積極的に活用し、生徒がわかる、できる授業を展開する。小中合同での研修を深め、「学力向上のためのICT活用の在り方」を継続し研究する。教師の授業力向上を図るために、一人年1回の研究授業を実践する。  
 (2) 徳育 = 心の教育の充実… 「ABC運動」を中心とした豊かな体験活動を計画的に実施し、道徳教育及び人権教育の充実を図るとともに、「いじめ0」「不登校0」の楽しく、充実した学校づくりをめざす。  
 (3) 体育 = 体力の向上… 保健体育科の授業をはじめ、三校合同運動会や駅伝ロードレース大会などの体育的行事等を通して、意図的、計画的に体力の向上を図り、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育成する。  
 (4) 食育 = 食育の充実… 給食活動を通して食に関する指導の充実を図り、「弁当の日」などの取組を通して、家庭科の授業や家庭と連携しながら食育指導を積極的に推進する。  
 (5) その他 = 信頼される学校づくり… 学校の教育活動を広く公開するとともに、職員の地域行事・PTA行事への積極的な参加を継続する。日々のホームページの更新や定期的な学級通信、学校便りを発行する。学校運営協議会を通して、家庭や地域の願いを十分に受け止めた開かれた学校づくりに努める。学校・家庭・地域が一体となり東方地区の伝統文化である東方輪太鼓踊りの継承に努める。